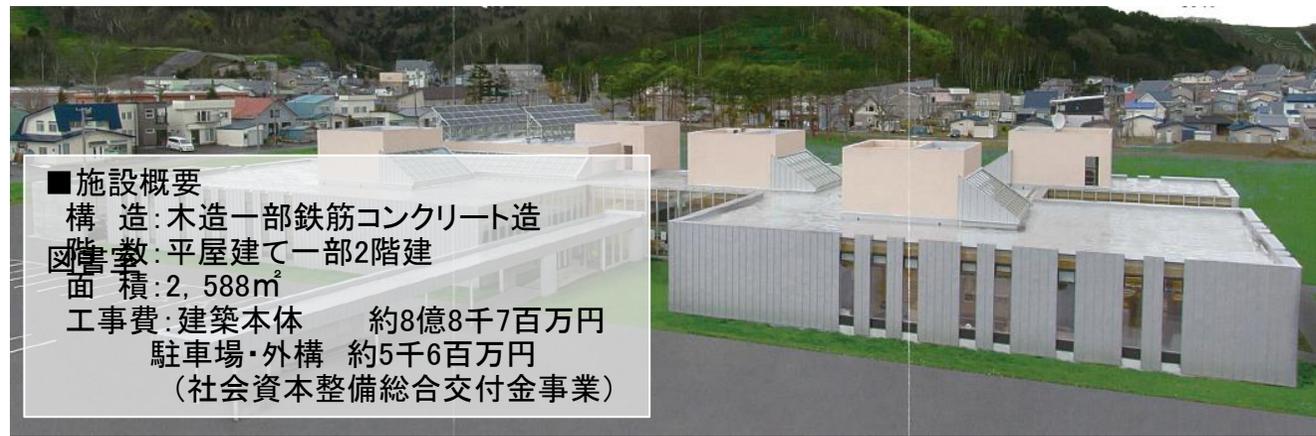


公共施設再編成の例 ～豊富町定住支援センター(保健福祉施設等の統廃合)～

<1> 定住支援センター整備の目的

保健センターの新設を機に町内の老朽化した公共施設を統合。①保健センター機能、②子育て機能、③活動交流、④情報交流の4つの機能を有する複合交流施設として整備された。

「保健・福祉・生きがいサービス」を提供し、様々な住民活動を通じた「多世代交流」を生み出し、住民が健康で、「安心して豊かに暮らせるまちづくり」を推進する。これによって、人口減少と高齢化が急速に進む豊富町での定住環境を整えることが狙い。

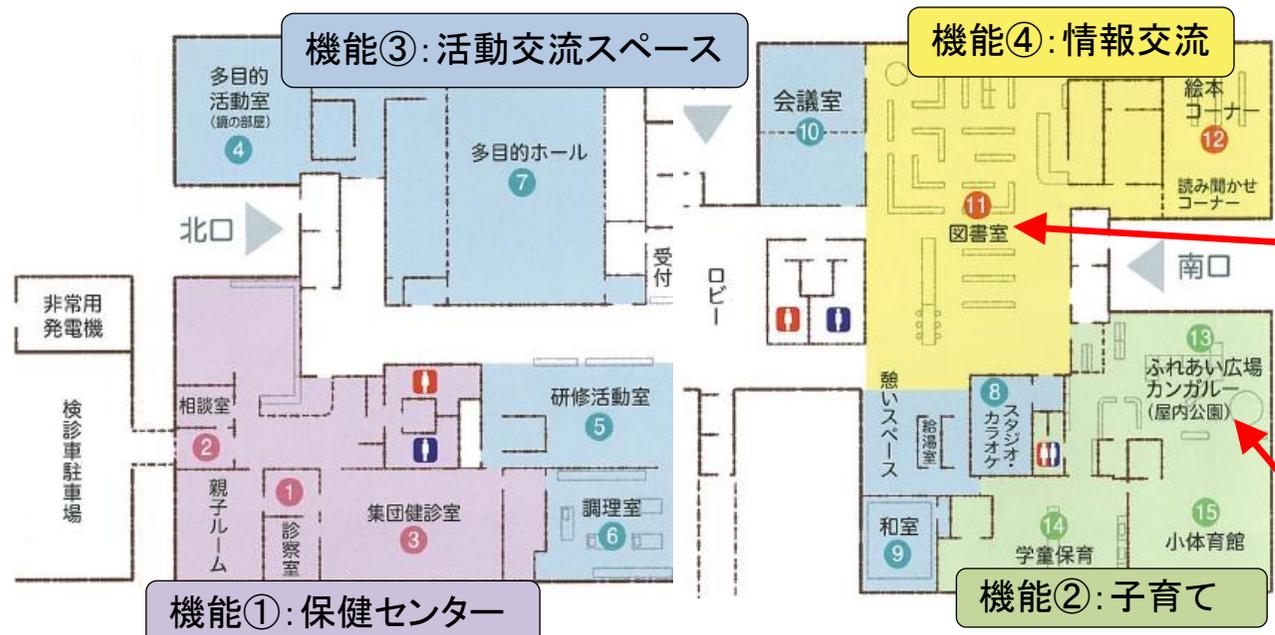


<2> 既存施設の統合、連携

既存の「母子健康センター」「中央会館」「老人福祉センター」「福祉センター」にあった機能を「定住支援センター」と町民センターなどの他施設に移転・統合を行った。

<3> 建築場所と土地利用

豊富中学校跡地(約3.2ha)に駐車場、公園等とともに整備された。



公共施設再編成の例 ～学校体育館と統合型地域スポーツクラブハウスの統合～



名称	NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ 〔設立:1996年3月20日 (2002年12月24日NPO法人登記)〕
所在地	愛知県半田市昭和町3-8 成岩中学校内クラブハウス
予算規模	102,238千円(2012年度)
ソシオ会員数	2,229人(2013年9月30日現在)
指定管理者	平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間
施設内容	アリーナ1・2、トレーニング室、会議室、研修室、浴室、更衣室等
主な事業内容	<p>① ソーシャルプログラム運営事業 「スポーツスクール」(対象:小中学生)、「平日放課後のプレイスクール」(同:小学生)、「スポーツサークル」(同:多世代)を運営により、生涯スポーツの環境づくりを推進。</p> <p>② WINGプロジェクト運営事業 「地域住民」の健康づくり、「スポーツ振興」のための各種プログラム及びスポーツリーグの実施。「青少年」を対象とした自然体験活動プログラムや子育て支援のためのプログラムの実施。</p> <p>③ クラブハウス運営事業 半田市からの指定管理を受け、「成岩地区総合型地域スポーツクラブハウス」を法人のクラブハウスとして運営。</p> <p>④ 総合型地域スポーツクラブ研究開発事業 文科省スポーツ振興基本計画にある総合型地域スポーツクラブのあり方について研究開発し、関係機関と連携して全国に発信。</p> <p>⑤ スタディサポートセンター事業 小・中学生を対象に、クラブが組織するメンバーが、クラブハウスにて「学習支援」を実施。子どもたちの勉強に取り組む姿勢の構築、異世代交流の機会を提供。</p>

ソシオとは、「仲間・つながり・社会」という意味を持つ。仲間たちが、スポーツを「する」とともに「支える」役割も果たし、その支えによって市民に公益的事業を提供することを目標とする。半田市の条例により、学校との共同利用施設として建設された専用のクラブハウスを有し、指定管理者として施設運営を通じて、半田市の生涯スポーツの環境づくりを進めている。

平日の夕方には、安全な放課後の居場所としてクラブハウスの一部を地域の子どもたちに開放している。これらのプログラムは、半田市が開催する指導者育成研修をうけた地域住民がボランティアとして支えており、クラブの理念である「地域の子どもたちは地域で見守り、育てる」を実現している。

「地域と学校との連携による地域づくりを進め、総合型地域スポーツクラブとしての定型を示したい」と施設のマネージングディレクターは語っている。

公共施設再編成の例 ～学校体育館と統合型地域スポーツクラブハウスの統合～

半田市は、「スポーツタウン構想」の一環として、部活動と社会体育の統合を進める

半田市は、民間事業者等の創意工夫を活かし、市民サービスの向上とスポーツ施設のより効率的な運営を図るため、公募による指定管理者制度を導入している。「NPOソシオ成岩スポーツクラブ」もその1つ。

半田市内の小中学校の体育館は、夜間や土曜日・日曜日・祝日、夏休みなどの長期学校休業日には、学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放している。

利用調整は、各地域の総合型地域スポーツクラブが行う。空き状況、利用方法については、各クラブへ問い合わせるしくみになっている。

クラブハウスの施設は、ソシオはもちろん、利用チケットを購入した人は、誰でも利用できる(但し、全施設、「予約利用」は受け付けていない)。

「譲り合い」「話し合いによる協同」によって各施設を利用してらうのが、クラブハウスの特徴、理念。一見、大変そうにはみえるが、ソシオにはごく当たり前のこと。

クラブハウス内では至る所で、お互い名前も知らない子どもや大人が会話する風景が見られる。



メインアリーナ



メインアリーナでの「バスケットボール ディフェンススキルアップレッスン」の様子



ラウンジ



スタジオでの「親子ふれあいエアロビクス・ヨガ」の様子



更衣室

公共施設再編成は、「足す」ではなく「混ぜる」。市民参加は「触媒」



「公共施設」

「足す」

「市民参加」

「混ぜる」

- ①コミュニケーションの技術
→ ワークショップ等
- ②主体・組織デザインの技術
→ まちづくり協議会等
- ③計画システム・プロセスデザインの技術
→ 財政運営条例、自治条例、まちづくり条例、事前協議制度等

「公共施設の新しいカタチ」の創造

- 施設の設置目的に固執した意見 ⇒ “もんだ族”
「〇〇とはこういうもんだ、うちにもあるべきもんだ…」
「条例に～と定められているから…」
(⇒ 設置目的を変える)
- 施設の効果を抽象的に表現した意見 ⇒ “なんだ族”
「ここは、〇〇のための施設なんだ…」
(⇒ 市全体への効果や影響を考える)
- 施設の既成概念に捉われた意見 ⇒ “どうすんだ族”
「何かあったらどうするんだ…」
(⇒ リスクを想定し対策を打つ)